

全国大会から早3ヶ月…新たな目標への挑戦!



“大きな目標”は日々の努力の積み重ねから!

多くの皆さまのご支援を受け出場となりました第49回技能五輪全国大会から早3ヶ月が過ぎようとしています。全国大会においては結果は残せませんでした。同じ技術技能を志す競合他社のレベルを目の当たりに確認し、選手・指導員共に次に向けての大きな財産となる経験を積むことが出来たと感謝申し上げます。

まずは高いレベルでの競争の場に立つための技量を身に付けていくことが重要であり、また小さなミスが結果を左右する事も体験しました。

技能五輪という取り組みの目的は、選手が高水準の技能を身につけるということだけではなく、技能を身につけるプロセスが人を育て、向上させるために資源を投入するという企業環境が多くの方々の「ものづくり」への意識を喚起し、その結果として技術や技能に興味を戴いた方々が次の世代の強い企業体質を作り上げていくのだと信じています。

ですからあくまでも高い目標に向けて日々研鑽し、あらゆる工夫を入れながら課題へ挑戦し、最適な体調管理を進めて大会に臨むような訓練の運営を心がけています。

選手達にも「大きな目標」を達成するために、「日々の小さな目標」を一つひとつクリアしていくよう指導をしています。今年の全国大会も、後半年余りとなりました。自分の苦手な部分を克服しつつ、一人ひとりの個性が活きるような地道な訓練を続けております。今後ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

五輪指導員(中山)

第50回全国大会に向けて目標・反省・今取り組むこと

佐藤正人選手

1. 入賞メダルを獲得する
2. 一つのミスが結果を大きく左右する
3. 部品精度向上と健康管理の徹底

太田選手

1. 最後の大会なので必ず入賞する
2. 絶対失格項目をなくす
3. 部品精度を上げ、96点以上をキープする

佐藤大昂選手

1. 必ず入賞する
2. 仕上げ加工方法の工夫
3. ダイ、ポンチのスキマ精度向上



技能五輪をアピールして戴いています

◆社内報Feel 2月号記事「匠の甲」

技能五輪の取り組みについて真剣に話を聞いて戴き、私達の気持ちが伝わる記事を作成して戴きました。本当にありがとうございます。結果を残し、また掲載されるようこれからも頑張ります。

◆社内報Feel 3月号記事「匠の技」

私たちの仲間、エフテック(三重事業所)金型技術部の半沢秀夫さんを紹介して戴いています。「自分の仕事の持分はここまでと壁を作らない」その前向きなチャレンジ精神を私達も見習いたいと思います。

◆FCS(吹上)テクノウイング1階ショールーム「マイスター(ビデオ)」撮影

実は未だ完成した映像を見ていません。新しいショールームが落成するときに拝見できることを楽しみにしています。多くの方がものづくりへ興味を持って戴けますと幸いです。

(中山)

